

第21期 株主通信

2020年4月1日 >> 2021年3月31日



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第21期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）における営業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

また、エーアンドエーマテリアルグループのCSRについてもご紹介申し上げます。

代表取締役社長

巻野 徹



当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、経済活動が抑制され、景気の停滞感が鮮明となりました。感染拡大防止策を講じながら経済活動は緩やかな回復基調にありますが、再度の感染拡大が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業領域である建設・建材業界では、工事の中断、新規着工の遅れにより需要は低調に推移いたしました。

工業製品・エンジニアリング事業領域では、船舶、鉄鋼、プラント関連において民間設備投資の減少、自動車関連は個人消費需要の低迷により国内外で市況の鈍化が続きました。

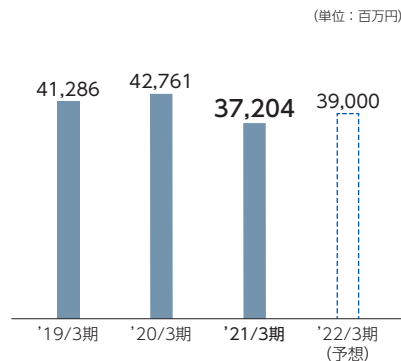
このような環境の下、当社グループは2020年度が最終年度となる「2020中期経営計画（2018年度～2020年度）」に基づき、労働生産性の向上、積極的な開発・投資、事業領域の拡大に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、積極

的なテレワークやリモート会議の実施等による経費削減を図ると共に業務効率化を推進いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は完成工事高19,139百万円を含み37,204百万円（前期比13.0%減収）、営業利益1,470百万円（前期比53.8%減益）、経常利益1,578百万円（前期比49.9%減益）、親会社株主に帰属する当期純利益727百万円（前期比63.5%減益）となりました。「2020中期経営計画（2018年度～2020年度）」の最終年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標数値が未達となりましたが、前年度に「2020中期経営計画（2018年度～2020年度）」の最終年度の営業利益目標である3,000百万円については1年前倒しで達成しており、企業価値向上の諸施策は着実に成果を上げております。

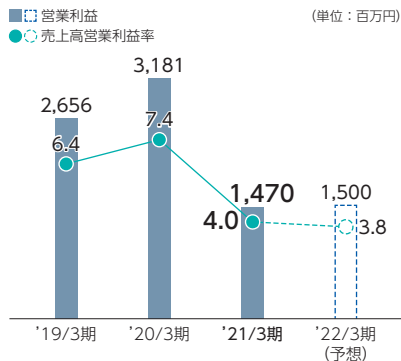
営業の概況は以上のとおりでございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト／来期の見通し

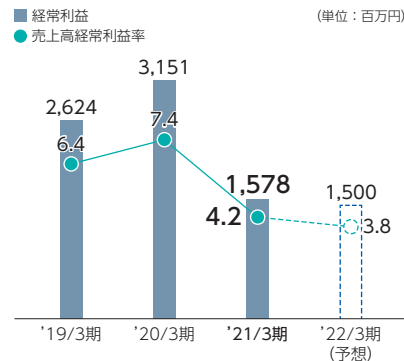
売上高



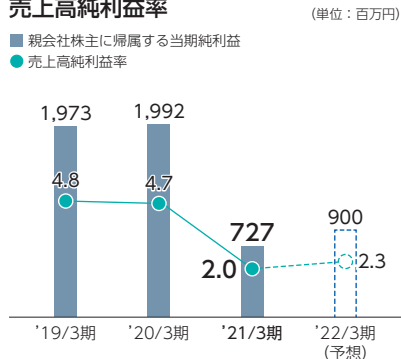
営業利益／売上高営業利益率



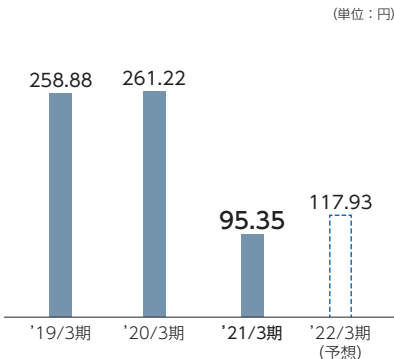
経常利益／売上高経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益 売上高純利益率



1株当たり当期純利益



来期の見通し

2022年3月期
連結業績予想

売上高

390億円

('21/3期比4.8%増)

営業利益

15億円

('21/3期比2.0%増)

経常利益

15億円

('21/3期比5.0%減)

親会社株主に帰属する
当期純利益

9億円

('21/3期比23.7%増)

2022年3月期
配当予想

1株につき
45円

事業概況

～ 当社グループの製品は日々の暮らしの中で活躍しています ～

建設・建材事業部門

売上高 **16,387** 百万円 (前期比 **18.6** %減)

材料販売

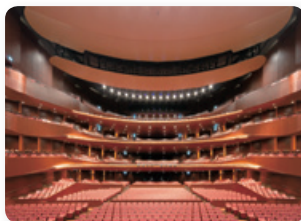
主力商品である けい酸カルシウム板「ハイレック」及び曲面施工が可能なオリジナル商品「エフジーボード」は、民間設備投資の落ち込みを受け、国内外で出荷が減少いたしました。高付加価値商品である内装不燃化粧板は、施工現場での施工時間を短縮し、廃棄物の量の低減となる、テープのみで施工が可能な新たな工法「ステンドスピード工法」が市場に普及し、出荷の減少を下支えいたしました。また、内壁だけでなく天井にも使用を可能とした「ステンドスピードテープS」を上市し、更なる需要を見込んでおります。耐火二層管は、首都圏を中心とした宿泊施設や新築マンションの建設需要の縮小を受け、出荷が減少いたしました。材料販売全体の売上高は減収となりました。

工 事

首都圏の再開発事業における長期大型物件や物流施設向け耐火被覆工事の完工が寄与いたしました。が、工期の遅れ、作業休止となった工事現場が想定以上に多く発生したことや民間設備投資の低迷により新規着工物件が減少したため、完成工事高は減収となりました。



浅野耐火パイプ



エフジーボード



ハイレック



フェザーロックNeo



ステンドシリーズ



トンネルライト

工業製品・エンジニアリング事業部門 売上高 20,771 百万円 (前期比 8.1%減)

材料販売

船舶、鉄鋼関連では世界的な市況の低迷により特殊船向け防熱材やステンレスメーカー向け炉内搬送ロール「ディスクロール」等の需要が縮小し、出荷が減少いたしました。自動車関連は、国内外で主要な取引先メーカーの稼働停止や生産調整の影響を受け、出荷が減少となりました。プラント関連では、火力発電所向けメンテナンス工事において工事範囲の縮小、工期の遅延、工事の中止等により出荷が減少いたしました。
材料販売全体の売上高は減収となりました。

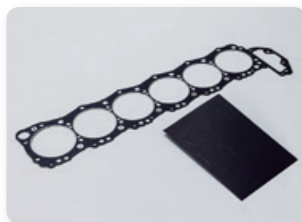
工 事

工期の延期等による影響を受け、プラント向けメンテナンス工事をはじめ工事受注が減少し、完成工事高は減収となりました。

そ の 他

売上高

45 百万円 (前期比 2.2%増)



セミメタリックガスケットシート



APコネクター



卵形タンク外装工事



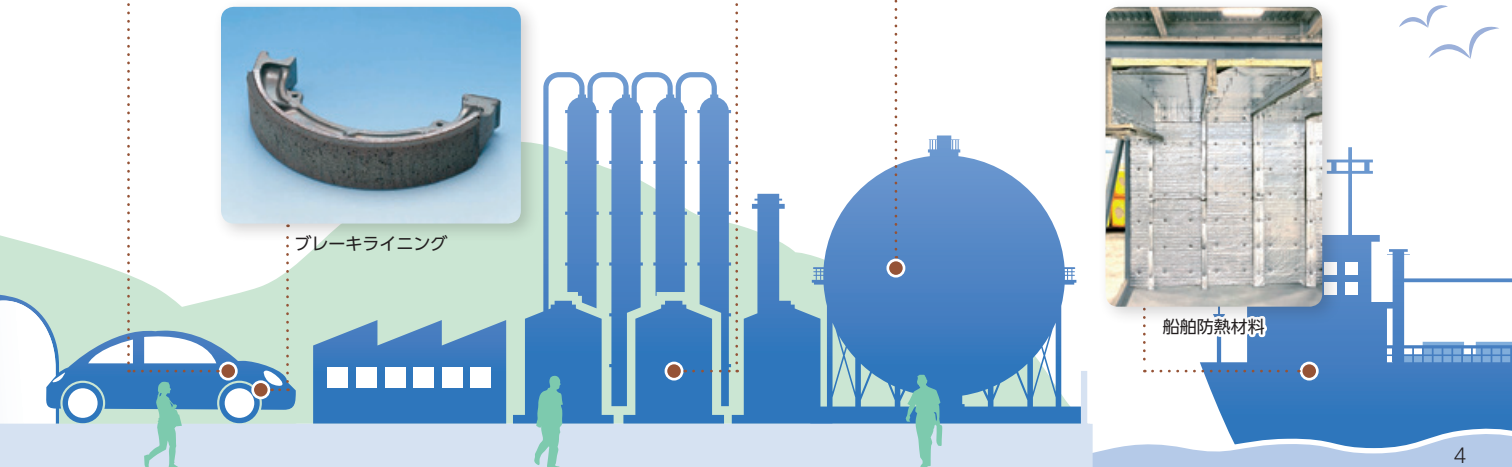
LNG保冷配管工事



ブレーキライニング



船舶防熱材料



新商品案内

【ステンドSpeed工法が天井施工可能に！】

◆ステンド Speed テープ S

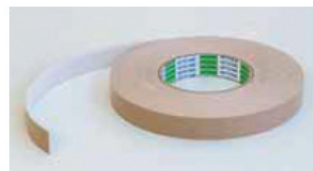
製品概要

製品名：ステンド Speed テープ S

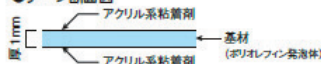
梱包：40巻 / 箱
(10巻 / 内箱) × 4箱入り

製品寸法

厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (m)
1	20	13



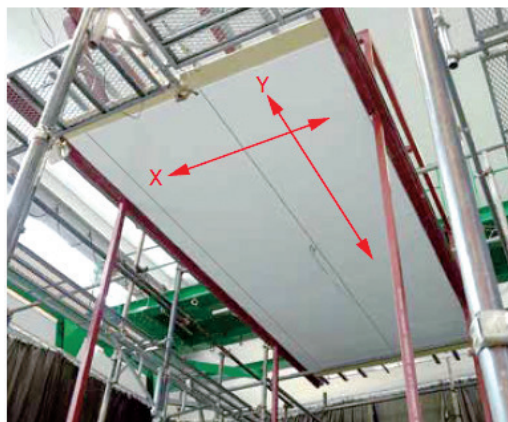
●テープ断面図



■試験結果

加震波	試験体の破損状況
神戸波 X-Y 方向	化粧板の破損、脱落なし
東日本波 X-Y 方向	化粧板の破損、脱落なし
益城波 X-Y 方向	化粧板の破損、脱落なし

※試験体の天井下地材（野縁等）については評価の対象としません。



特殊接着テープだけで張り付ける化粧板専用の接着工法「ステンドSpeed工法」が、初期接着力をさらに強化した「ステンドSpeedテープS」への改良により、天井面への施工も可能にしました。

接着剤要らずで施工が容易となり省人化、施工効率の向上が図れます。使用済接着剤の産廃もありませんので現場環境の改善にも大きく貢献します。



【労働環境向上製品の取組み】

新型コロナウイルス感染症や熱中症のリスクを低減し、労働環境の向上に寄与する製品の取り扱いを拡大しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に有効な非接触式の検温・消毒・除菌システム、人工知能(AI)技術を活用した発熱者追跡システムなどを提案しています。また、猛暑日が連続する夏の業務効率改善や熱中症対策に最適で、強力ファンと微細ミストで周囲の床や機器を濡らすことなく、屋内室外を問わない様々な用途で、快適空間を作り出す大型ミストファンを提案しています。



DDS（温度検知・除菌システム）



大型ミストファン

エーアンドエーマテリアル中長期CSRビジョン（CSR2030）

株式会社エーアンドエーマテリアルは、創立20周年を機に、10年後の2030年のあるべき姿を目指した当社グループ中長期CSRビジョン（CSR2030）を策定しました。

CSR2030は、カテゴリーを環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）に分け、それぞれの分野における具体的な目標設定を基本としています。

当社グループはこれらの目標達成を通して、社会から信頼される企業の確立を目指します。

CSR2030の位置付け

CSR2030は、経営理念を頂点とした中長期の経営ビジョン（中期経営計画）と紐づけし、当社グループの経営運営の中核をなす基本の考え方として位置付けます。



CSR2030の活動基本方針

CSR2030の活動は、環境に配慮し、社会と共生し、ガバナンスを強化した、社会から信頼される企業であることを基本としています。環境の分野ではパリ協定に準じた温室効果ガスの削減を、社会の分野では女性管理職の育成等を、ガバナンスの分野では重大なコンプライアンス違反の根絶等、具体的な目標を設定しました。温室効果ガス対策には、今後15～20億円の設備投資を予定しています。

また、SDGsの指標とリンクし、活動目標をより明確化しました。

CSR 基本方針



CSR2030の中長期活動計画

	テーマ	SDGs	細分テーマ	中期CSRビジョン
環境	環境負荷の低減	  	温室効果ガス排出量削減	2023年度のCO ₂ 排出量 2013年度比 17%削減
			グループ社用車を環境配慮型へ転換	2023年までに社用車を ハイブリッド車 に転換
	産業廃棄物の削減 環境管理の徹底	  	埋立処分率の削減	2023年度の 埋立処分率10%以下
			コピー用紙の削減	2023年度のコピー用紙 2020年度比 20%削減
			水資源の適正利用	水資源の適正利用の管理
			法令遵守と教育の推進	EMSの維持管理と教育の推進
			グリーン調達への推進	グリーン調達ガイドラインの作成と定着
			環境クレーム・環境事故の撲滅	行政指導を伴う環境事故・法令違反0件
社会	従業員とともに	  	ダイバーシティ・多様な人材が活躍できる職場環境づくり	女性が活躍できる職場や人権を確保した環境づくり
			働き方改革 仕事と家庭など仕事以外の生活との調和を保つ職場環境づくり	2023年度有給休暇取得率 50%以上 対象者の在宅率 10%以上 の実現 仕事と育児、介護の両立のための環境づくり
			従業員の安全と健康を守るため災害ゼロを推進する	休業4日以上の 重篤な休業災害ゼロ 健康経営優良法人認定 の取得のための環境づくり
	お客様とともに		品質管理体制の強化で安全で信頼性の高い製品・サービスを開発・提供する	重大な製品事故 0件
	ビジネスパートナーとともに	  	公正な競争と取引の徹底	独禁法・下請法の法令違反 0件
	地域社会とともに	   	地域との連携、社会貢献 当社グループの各事業所が地域に貢献をする	各事業場、生産拠点での 年1回以上 の社会貢献活動実施
ガバナンス	ガバナンスの強化		株主様・投資家様を始めとするステークホルダーからの信頼を高める	ガバナンスコードの優先事項をピックアップし、確実に取り入れる。 2023年度までに 全事業場のBCP策定
	コンプライアンスの徹底		お客様から信頼される倫理感の醸成 行政指導の撲滅	重大なコンプライアンス違反の早期発見、迅速な是正対応
	透明性の確保		外部発信の充実 社外取締役の役割強化	社外取締役 1/3以上 の確保 女性役員 の選任

長期CSRビジョン	施策
2030年度のCO ₂ 排出量 2013年度比 26%削減	・エーアンドエー茨城とエーアンドエー大阪に集中したエネルギー削減対策として排熱を利用した乾燥設備の刷新、ガスコジェネレーションシステムの導入を実施する。 ・その他の省エネ対策として、エネルギー転換等を実施する。 ・CO₂削減に関する技術革新の積極的取り込み ・対策費として、今後10年間で15～20億円の設備投資
2030年までに社用車を 電気自動車等 に転換	・新規の社用車は原則ハイブリッド車等とする。
2030年度の 埋立処分率5%以下	・滋賀工場：外部施設でのリサイクル処理 ・朝日珪酸工業：リサイクル技術の推進
2030年度のコピー用紙 2020年度比 60%削減	・書類の電子データ化、クラウド化のさらなる推進
水資源の適正利用の管理	・主要工場の排水循環システムの管理 ・アスクテクニカ社における排水中の懸濁物質の除去
	・ISO14001の維持管理 ・各工場での教育・セミナーの充実
環境配慮型製品の製品化10品目	
2030年までに 女性管理職10%以上	女性総合職の採用、育成 地域管理職の育成
2030年度有給休暇取得率 70%	有給休暇の取得推進
対象者の在宅率 30%以上	テレワークを効果的に導入するため、工事現場での対応、クラウド化の加速、必要機器の配備を推進する
子育てサポート「 くるみん認定 」の取得	男性育児休暇率、労働時間数、有給休暇取得等の施策の策定と基準達成
休業災害ゼロ	安全パトロールの定期的な実施 外部機関による安全診断の実施
健康経営優良法人認定 の取得	健康に関する理念や組織の明確化、健康診断や健康増進のための取り組み等、施策の策定と認定基準の達成
重大な製品事故 0件	IoTの導入 品質管理教育の継続実施 性能検証試験および品質監査による監視活動
独禁法・下請法の法令違反 0件	社内諸規程の整備
各事業場、生産拠点での 年1回以上 の社会貢献活動実施	事業場ごとの活動目標の設定および活動報告を義務化する。
ガバナンスコードの優先事項をピックアップし、確実に取り入れる。 2030年度までに 全事業場でのBCP改善	随時検証
重大なコンプライアンス違反の根絶	コンプライアンス教育プログラムの実行 内部通報制度認証への登録
社外取締役 1/3以上 の確保 女性役員 の選任	



環境に配慮した企業であるために

マテリアルバランス

当社グループでは、事業活動における様々な環境への影響を把握、管理して、天然資源、副産物の有効活用や環境負荷の低減等に努力を続けています。



※ 塩化メチレン排出量6.3tonのうち1.3tonは事業場移動量

▶ 温室効果ガスの削減

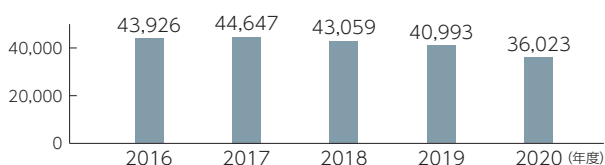
当社グループでは、地球温暖化に関する温室効果ガス（CO₂）の排出量の調査を継続して行っています。CO₂排出量は生産量の増減により影響を受けるため、生産工場においては原単位の把握及び管理も行っています。

特に主要工場である㈱エーアンドエー茨城及び㈱エーアンドエー大阪においては中期的に目標を定めて管理を徹底しています。空気や蒸気類の漏れ防止や、徹底した日常管理や省エネルギー機器の随時導入等を進め、エネルギーの削減に継続して取り組んでいます。

2020年度の当社グループにおけるCO₂総排出量（基礎排出係数換算）は36,023ton-CO₂（生産工場で35,268ton-CO₂）となり、前年度比約12.1%減（生産工場で12.4%減）となりました。また主要2工場のCO₂排出量原単位は、前年度から約2.0%増（2016年度比で10.3%減）と微増となっており、コロナ禍における販売数量減、それに伴う生産数減の影響により生産性のロスによる原単位増となりました。今後も効率的な生産体制を追求しながら、エネルギー削減効果が表れるようチャレンジしていきます。

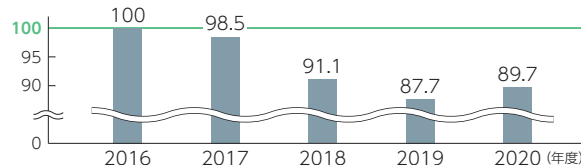
【当社グループのCO₂排出量推移】

（単位：ton-CO₂）



【主要工場のCO₂排出量原単位*の推移】

（単位：%）



※ 2016年度を100%として算出

会社概要／株式の状況

1. 会社概要 (2021年3月31日現在)

商 号	株式会社エーアンドエーマテリアル
住 所	横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
設 立	1924年3月4日 (大正13年)
電 話	045-503-5760 (代表)
資 本 金	38億8千9百万円
従業員数	863名 (連結) 215名 (単体)
主な子会社	アスク・サンシンエンジニアリング株式会社 株式会社アスクテクニカ エーアンドエー工事株式会社 関東浅野パイプ株式会社 朝日珪酸工業株式会社 株式会社エーアンドエー茨城 株式会社エーアンドエー大阪

2. 株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株 (1単元 100株)
発行済株式総数	7,759,219株 (自己株式18,781株を除く。)
株 主 数	4,717名

3. 役員 (2021年6月29日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長	巻 野 徹
取締役専務執行役員	新 川 篤 志
取締役専務執行役員	弟子丸 茂 明
取締役執行役員	太 見 健 志
取締役 (社外)	田 倉 榮 美
取締役 (社外)	東 海 秀 樹

常勤監査役(社外)	毛 利 裕
常 勤 監 査 役	中 村 宏 之
監 査 役 (社 外)	大 園 浩 一

執行役員

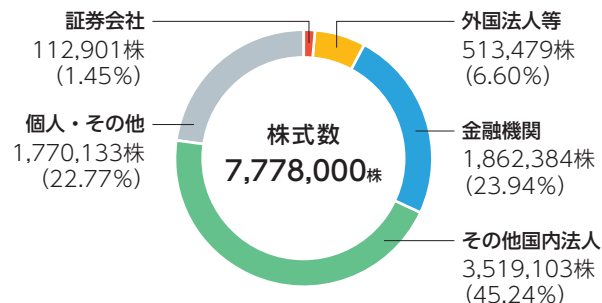
執 行 役 員	工 藤 誠 司
執 行 役 員	大 島 武 人
執 行 役 員	高 原 一 登

4. 大株主 (2021年3月31日現在)

株 主 名	持株数(百株)	持株比率(%)
太平洋セメント株式会社	32,915	42.42
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,516	4.53
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	2,507	3.23
明治安田生命保険相互会社	2,313	2.98
株式会社みずほ銀行	2,013	2.59
株式会社三井住友銀行	1,884	2.42
MSIP CLIENT SECURITIES	1,492	1.92
株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	1,273	1.64
INTERACTIVE BROKERS LLC	1,152	1.48
株式会社日本カストディ銀行 (信託口4)	1,010	1.30

(注) 持株比率は、自己株式18,781株を控除して計算しております。

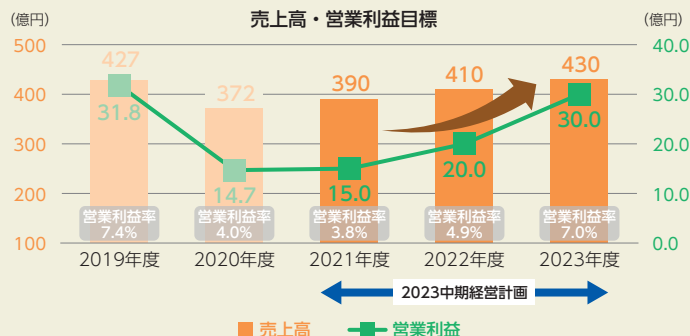
5. 所有者別分布状況 (2021年3月31日現在)



2023中期経営計画（第22期～第24期）策定について

◇2023中期経営計画 グループスローガン

「次への飛躍を目指し、あらゆる生産性を向上する」



◇主要施策

1. 事業とESGへの取組みの一体化に道筋をつける
2. 成長に向けた未来志向の事業戦略の推進
3. DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
4. 従業員エンゲージメントの向上

2023年度目標

売上高 **430億円**
 営業利益 **30億円**
 営業利益率 **7.0%**
 自己資本比率 **45%**

株主メモ

事業年度

4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日

3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）

定時株主総会

毎年6月中

単元株式数

100株

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

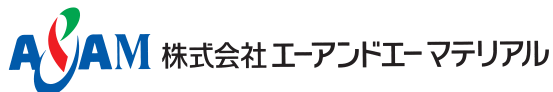
公告方法

電子公告（<https://www.aa-material.co.jp>）
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 （特別口座の場合）
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続 お取扱店 （住所変更、 株主配当金 受取り方法 の変更等）		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の 店舗）でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できません のでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 及び みずほ銀行の本店 及び 全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

ホームページのご案内 ▶ <https://www.aa-material.co.jp>

なおIR情報をはじめ当社の最新情報は、当社ホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。



〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
 電話 045 (503) 5760 (代表)



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

